



物流ニッポン

2009年(平成21年)

2|19 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3201号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2009 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)



新物流センター建設

3PL強化

柳川合同

【上田慎二】柳川合同 値のサービスを提供。同社(荒巻哲也社長、福岡県柳川市)は、柳川市の本社隣接地に柳川合同新物流センター(仮称)を建設する。営業倉庫を備えるセンターで、高付加価値のサービスを提供。同社が得意とする食品や家具のサードパーティー・ロジスティクス(3PL)を強化する。来月に着工、十月稼働を目指す。

敷地面積は六千二百七十平方メートル。建物は一階がプラットホーム(床面積千三百四十平方メートル)、二階が常温倉庫(千七百七十平方メートル)。雨天時の出入庫や荷さばき作業に配慮したビッグルーフや、積載能力一トンの垂直搬送機二基を完備。完成後、県内外に分散する保管機能を集約し、経営効率を高めていく。

センター内の作業灯や事務所の照明機器など、すべての照明施設に省エネ効果が高く長寿命のLED(発光ダイオード)

↑ 10月稼働を目指す物流センター(完成予想図)

タイプを導入、消費電力の節約で環境保全に配慮している。

家具や輸入雑貨、家電製品、加工食品などを取り扱う。低コストの保管サービスで差別化を図るほか、地元運送会社と取り組む混載サービスも展開、荷主企業の物流コスト削減に寄与する。